



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
（奈良県保健環境研究センター内）
N a r a I D S C



今週の概要

今週の感染症情報



（調査週） 平成 24 年 第 17 週 4 月 23 日（月）～ 4 月 29 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	5.29	→	→	→	→
2	インフルエンザ	2.51	↓	↓	↓	→～↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.83	→	→～↑	→	↑
4	水痘	0.71	→～↑	↑	→～↓	↑↑
5	咽頭結膜熱	0.49	↑	↑	↑↑	→

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は 201 例で、前週報告の 233 例からやや減少。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④A 群溶連菌咽頭炎、⑤突発性発しんの順で先週報告分と変わらず。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（11 例）は、やや増加。感染性胃腸炎の報告数（90 例）は、ほぼ横ばい。水痘の報告数（13 例）も、ほぼ横ばい。突発性発しんの報告数（6 例）も、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数（109→63 例）は、減少。なお、インフルエンザ定点から、奈良市 HC 管内；41 例（ほぼ横ばい）、郡山 HC 管内；22 例（減少）が、報告されている。基幹定点からは、奈良市 HC および郡山 HC 両管内共に報告されなかったが、眼科定点から、奈良市 HC 管内より流行性角結膜炎；2 例、郡山 HC 管内より急性出血性結膜炎；1 例の報告があった。（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、268 例から 177 例と大幅に減少した。上位 5 疾患は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、咽頭結膜熱、A 群溶連菌咽頭炎、水痘の順であった。感染性胃腸炎は、77 例と横ばいであり、インフルエンザは 98 例から 58 例と大きく減少した。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。 (高木 記)

県南部地区概況 報告数（第 16 週→第 17 週）は 49 例→53 例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（17 例→18 例）、②インフルエンザ（23 例→17 例）、③A 群溶連菌咽頭炎（5 例→8 例）、④水痘（2 例→5 例）、⑤突発性発疹（1 例→3 例）、⑥RS ウイルス感染症（1 例→2 例）であった。 (柳生 記)